

## 歌の力を信じて

延岡市立旭中学校 2年 土本香凜

私は合唱団に所属しています。なぜなら歌が大好きだからです。私の所属している合唱団は児童合唱団なので、ソプラノ、メゾソプラノ、アルトの3つのパートで成り立っています。3つのパート全てが上手に重なり合い、一つになることで1曲1曲に命が吹き込まれます。その声の一つになったとき、私は皆の心もひとつになったと感じてうれしくなります。そのうれしさを皆と共有したいと思い、合唱団に入りました。

ところが、今年度、私は一度も合唱の練習をしていません。なぜなら新型コロナウイルス感染症予防のため、集まって歌を歌うことができないからです。私にとって合唱とは、心の支えなのに、それができないとなると気持ちが沈みました。新型コロナウイルスがここまで自分の日常に支障をきたすとは思ってもみませんでした。

しかし、今私たちがしなければならないのは、いつまでも悲観していることではなく、これからの未来に向けての準備です。私は合唱が休みの間、家でできることを考えていました。過去の合唱コンクールなどの動画を見て上手に歌うコツを探してみたり、腹筋をしたり、これ以上新型コロナウイルスを拡大させないように、手洗い・うがい・消毒の徹底も心がけました。そうやって次に進み出すと自然と心が明るくなり始めました。

私は今回のことで当たり前な日常を送ることがどれほど尊いものなのかということが分かりました。合唱団として活動できるのも、たくさんの人々の支えがあるからこそだと思います。まだ合唱の練習は再開できていませんが、歌には心を明るく元気にさせる力があると思います。私はこれからも工夫をしながら歌と関わり続けていきます。またいつか、合唱ができる日が来ることを信じて、今を乗り越えていきたいです。